

# 東京大学海洋研究所共同利用研究集会

## 中央海嶺研究のグローバルな展開

### -InterRidge-Japan 研究発表集会-

日時：平成 18 年 11 月 9 日（木）10:30-18:10

平成 18 年 11 月 10 日（金）9:30-17:30

場所：東京大学海洋研究所 講堂

〒164-8639 東京都中野区南台 1-15-1

TEL 03-5351-6432（代表）、03-5351-6446（沖野）

コンピーナー：

沖野 郷子（東京大学海洋研究所、okino@ori.u-tokyo.ac.jp）

島 伸和（神戸大学内海域環境教育研究センター、seama@kobe-u.ac.jp）

石橋純一郎（九州大学大学院理学研究院、ishi@geo.kyushu-u.ac.jp）

## プログラム

各講演原則 30 分（講演時間 20 分、質疑応答および交代含め 10 分）

11月9日（木）

10:30-12:00

開会の挨拶 沖野郷子（東大海洋研）

### 1. アルビンガイ類の系統進化と生物地理

内海隆司・小島茂明（東大海洋研）

### 2. 西太平洋における重晶石チムニーの地球化学

野口拓郎・大森保（琉球大）

### 3. SEPR17-32°S における熱水の溶存気体成分化学

濱崎浩・石橋純一郎（九大院・理）・上野雄一郎（東京工業大）・ラプトン ジョン（NOAA）

昼食

13:15-15:05

4. ファンデファーカ海嶺エンデバー海底熱水系における長期観測と

EPR9N2006 噴火後の観測

中村光一 (産総研)

5. WHOI AUV, ABE との 7 年間の熱水調査-探索活動の小括-Endeavour, Explorer Ridge, Lost City, Lau, S. Atlantic & Manus -

中村光一 (産総研)

6. かんらん石の存在する熱水条件下での、二酸化炭素の還元によるメタン生成とその炭素同位体変動

竹本和生 (東大)

7. 海洋地殻における高度変成岩 (グラニュライト) の広域的出現についてー1256D における掘削とオマーンオフィオライトにおける例

宮下純夫 (新潟大)・足立佳子(北大)・山崎秀策・田中真二・根尾夏紀(新潟大)・

IODP Exp. 312 乗船研究者一同

休憩

15:20-18:10

8. インド洋 MORB とオフィオライト問題

根尾夏紀・宮下純夫 (新潟大)

9. ロドリゲス三重点近傍に見られる Nb に枯渇した MORB の成因

中村謙太郎 (JAMSTEC)・佐藤暢(専修大)・佐藤泰彦・石井輝秋 (東大海洋研)

10. 南西太平洋とインド洋の海嶺熱水活動域の地球生物学研究調査

高井研 (JAMSTEC)・YK04-09 研究調査乗船研究者一同・

YK05-16 研究調査乗船研究者一同

11. 熱水組成はマントル不均質の反映か ーYK05-16Leg1 中央インド洋海嶺潜航調査

熊谷英憲 (JAMSTEC)・YK05-16 乗船者・陸上協力者

12. 船上および深海 3 成分磁力計を用いた中央インド洋海嶺南端部の海洋コアコンプレックスの磁化構造

佐藤太一・沖野郷子（東大海洋研）・熊谷英憲（JAMSTEC）

**13. [特別講演]**

**Google Earth を用いた航路情報ならびに取得データ所在の一元表示システム**

山岸保子（JAMSTEC）

**InterRidge-Japan 連絡** 島 伸和（神戸大）

**18:30- 懇親会**

**11月10日（金）**

**9:30-12:00**

**14. 中速拡大海嶺系の海洋コアコンプレックス**

沖野郷子（東大海洋研）・小原泰彦（海保・海洋情報部）・野木義史（極地研）

**15. IODP Expeditions 304/305 : 海洋コアコンプレックスの掘削**

小原泰彦（海保・海洋情報部）・Donna Blackman（スクリップス海洋研）・  
Benoit Ildefonse（モンペリエ第2大）・Barbara John（ワイオミング大）・  
D. Jay Miller（テキサス A&M 大）・Christopher MacLeod（カーディフ大）・  
IODP Expeditions 304/305 乗船研究者一同

**16. 大西洋中央海嶺北緯 30 度，アトランティスマッシュフにおける緑れん石含有優白  
質閃緑岩の起源：低速拡大軸下でのマグマ-熱水相互作用への示唆**

山崎徹・前田仁一郎（北大）

**17. ゴジラムリオンから採取されたはんれい岩の変形微細構造解析**

針金由美子・道林克禎（静岡大）・小原泰彦（海保・海洋情報部）

**18. パレスベラ海盆コアコンプレックス形成前後の玄武岩組成の変化**

佐藤暢（専修大学）・吉木佳奈（学芸大）・石塚治（産総研）・  
小原泰彦（海保・海洋情報部）

**昼食**

13:15-15:15

19. マリアナ火山弧の火山活動と熱水活動の特徴

-Submarine Ring of Fire 2003, 04, 06 & NT05-18 cruises-

中村光一（産総研）

20. 南部マリアナトラフ拡大史－KR06-11 速報

益田晴恵（大阪市大）・掛川武（東北大）・Samuel Hulme（ハワイ大）・古山勝彦・  
久野光輝（大阪市大）・佐藤誠吾（東北大）

21. 南部マリアナ海域深海海底熱水系における微生物群集構造の時空間変動

柳川勝紀（東京理科大院・応用生物）石橋純一郎（九大院・理）・  
浦辺徹郎（東大院・理）・砂村倫成（東大院・理）

22. 水曜海山及び伊平屋北海底熱水域での熱流量詳細分布と地下水理構造の推定

正木裕香（高知大）・木下正高（JAMSTEC）・岡村慶（高知大）・高井研（JAMSTEC）・  
大岩根尚（東大海洋研）

休憩

15:30-17:30

23. 背弧海盆拡大軸での詳細な海洋地殻形成過程の研究

富士原敏也（JAMSTEC）・浅田美穂（東大海洋研）・海野進（静岡大）・  
阿部なつ江（JAMSTEC）・石塚治（産総研）・沖野郷子（東大海洋研）

24. 海底地震計より求めた中部マリアナトラフ拡大軸付近の震源分布

岩本久則（神戸大）・Douglas Wiens・Mitchell Barklage（ワシントン大）・  
塩原肇（東大地震研）・杉岡裕子（JAMSTEC）・島伸和（神戸大）

25. 中部マリアナトラフ拡大軸上にある海底熱水循環系の3次元電気伝導度構造

多田訓子・島伸和（神戸大）・木戸元之（東北大）

26. DAI-PACK（深海曳航式音響探査装置）が明らかにした精密音波探査データの意義：  
"Deep-sea Acoustic Imaging PACKage"その有用性と今後の課題

岸本清行・上嶋正人・西村清和（産総研）

閉会の挨拶 石橋純一郎（九大院・理）